

展覧会 / Exhibition

生誕110年
映画俳優Film
Actor志村喬
Takashi Shimura

2015.8/18(火)→12/23(水祝)

東京国立近代美術館フィルムセンター 展示室(7階)

August 18 - December 23, 2015 National Film Center, The National Museum of Modern Art, Tokyo [English text available]

月曜日および以下の日は休室です。9月8日(火)～11日(金) 9月25日(金) 9月29日(火)～10月1日(木) 10月13日(火)～15日(木) 10月20日(火)～22日(木) 11月10日(火)～12日(木) 11月17日(火)～20日(金)

Closed on Mondays, Sep. 8-11, 25, 29-30, Oct. 1, 13-15, 20-22, Nov. 10-12, 17-20

開室時間：午前11時～午後6時30分(入場は午後6時まで)

料金：一般210円(100円)/大学生・シニア70円(40円)/高校生以下及び18歳未満、障害者(付添者は原則1名まで)、MOMATパスポートをお持ちの方、キャンパスメンバーズは無料

料金は常設の「日本映画の歴史」の入場料を含みます。()内は20名以上の団体料金です。*学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方はそれぞれ入室の際、証明できるものをご提示ください。

*フィルムセンターの上映企画をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

主催：東京国立近代美術館フィルムセンター

撮影・濱谷浩(1952年) ©Keisuke Katano / Estate of Hiroshi Hamaya, Oiso

東京国立近代美術館ホームページ <http://www.momat.go.jp/>

忘れがたき日本映画の《顔》

『七人の侍』の知恵深き戦術家、生命の最後の火を燃やす『生きる』の役人—この2015年、生誕110年を迎える俳優志村喬は、黒澤明の全30作品のうち21本に出演し、世界の映画ファンにその名演を印象づけてきました。しかし志村の俳優人生は、もちろん黒澤映画にとどまるものではありません。

1905年、兵庫県に生まれた志村（本名・島崎捷爾）は、大阪での学生時代から演劇活動に目覚め、1934年には新興キネマ京都撮影所に入社します。1937年の日活移籍以降は芸達者な時代劇の脇役として認められ、やがて1943年の東宝入社が黒澤との出会いとなりました。『酔いどれ天使』（1948年）からは三船敏郎とともに黒澤作品の看板となり、同時に様々なスタジオで、二枚目でも三枚目でもない、人間味と朴訥さ、そして風格を備えた演技者としてジャンルに捉われない活躍を続けます。400本以上のフィルムに出演した、その役柄の幅広さは他の追従を許しません。

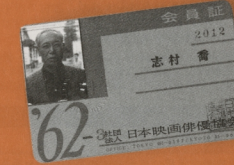
この展覧会「生誕110年 映画俳優 志村喬」は、2010年にフィルムセンターへの寄贈が完了した志村の旧蔵コレクションを本格的に公開する初の機会です。出演した15作品のフィルム上映も併せてそのキャリアをたどります。日本映画が誇る忘れがたい名優を再発見する機会となるでしょう。



『生きる』撮影スナップ 黒澤明監督、小田切みこと（1952年）



『生きる』完成記念反皿

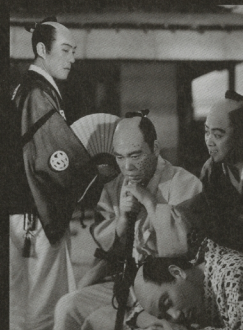


演劇俳優時代 七月座公演
『旗本退屈合』（1929年）
左端が志村



日本映画俳優協会
会員証（1962年）

政子夫人と（1942年）
京都の自宅にて



目明かし

『右門捕物帖 幽霊水監師』（1941年、菅沼栄二監督）



医師

『酔いどれ歌手』（1952年、春原政久監督）

プロ野球監督

『男ありて』（1955年、丸山誠治監督）



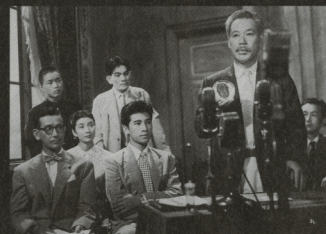
博士

『ゴジラ』（1954年、本多猪四郎監督）



刑事

『野良犬』（1949年、黒澤明監督）



医師

『酔いどれ歌手』（1952年、春原政久監督）

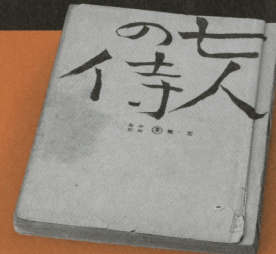
プロ野球監督

『男ありて』（1955年、丸山誠治監督）

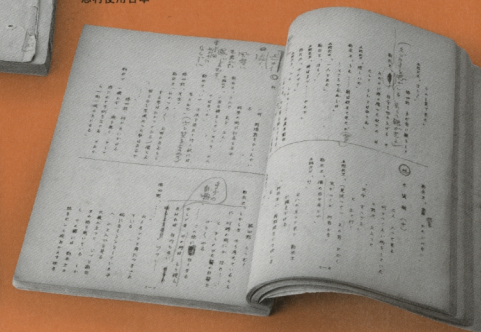


博士

『ゴジラ』（1954年、本多猪四郎監督）



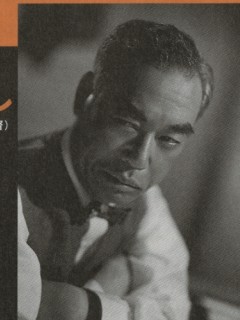
『七人の侍』（1954年）
志村使用台本



ベルリン国際映画祭参加 プランデンブルク門にて
香川京子、三船敏郎と（1961年）



志村使用の和傘と高下駄



高利貸し

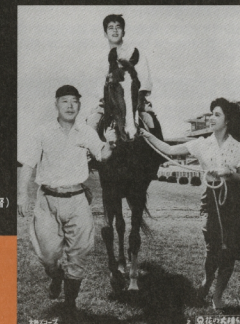
『裸の町』（1957年、久松静児監督）

炭坑夫

『どたんば』（1957年、内田吐夢監督）

厩務員

『花の大団円』（1959年、島耕二監督）

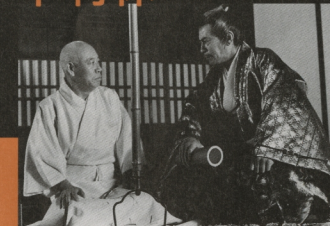


総会屋

『総会屋 勝負師とその娘』（1959年、島耕二監督）

千利休

『お吟さま』（1978年、熊井啓監督）



志村のスケッチ
『生野の私が生まれた家』



ギャラリー・トーク

9月5日④ 10月24日④
12月19日④

フィルムセンター研究員が
展示解説を行います。
＊詳細は後日ホームページなどで
お知らせいたします。

1 9/26 1:00pm
赤西蠣太 (78分・35mm・白黒)

志賀直哉の短篇をもとに、伊達家の大名屋敷に入った間者(千恵蔵)をめぐるユーモラスな時代劇。野良猫をたらい廻しにするシーンをはじめ、志村の朴訥とした演技が光る。

役名: 侍・角又鱈之進

1936(千恵蔵プロ) 伊丹万作 志賀直哉 漆山裕茂 清水香夫 留高橋半 片岡千恵蔵、瀬川路三郎、毛利峯子、上山草人、原健作

2 9/26 4:00pm 11/13 7:00pm
鴛鴦歌合戦 [英語字幕付] (69分・35mm・白黒)

急ごしらえの作品ながら、明朗な感覚が後年高く再評価されたオペレッタ時代劇。老け役の志村も美声を披露、監督のマキノによればテイチクから歌手デビューの誘いもあったという。役名: 志村狂齋

1939(日活京都) マキノ正博 江戸川浩二(マキノ正博) 宮川一夫 長谷川繁吉 大久保保二郎 片岡千恵蔵、香川良介、ディック・ミネ、服部富子、市川春代、深水藤子

Oshidori Utagassen [English subtitled] Directed by Masahiro Makino

3 9/27 1:00pm
右門捕物帖 拾萬両秘聞 (75分・35mm・白黒)

むつり右門(寛寿郎)と彼にライバル心を抱く「あば敬」が、奪われた十萬両を競って捜査する。「あば敬」は原作になく映画化で生まれた役柄で、志村にとって戦前期の当たり役となる。

役名: 同心・村上敬四郎(あばたの敬四郎)

1939(日活京都) 荒井良平 佐々木味津三 脇坂保二郎 吉見滋男 白木義信 嵐寛寿郎、田村邦男、林誠之助、原健作、香川良介

4 9/27 4:00pm 11/14 1:00pm
酔いどれ天使 (98分・35mm・白黒)

結核に冒された闇市のやくざ(三船)と、懸命に彼の治療を試みる呑んだくれの貧乏医者。二つのキャラクターのぶつかり合いで、黒澤映画における志村のプレゼンスを決定的にした一作。

役名: 医師・真田

1948(東宝) 黒澤明 植草圭之助 伊藤武夫 松山崇 早坂文雄 三船敏郎、山本禮三郎、木暮実千代、中北千枝子、千石規子

5 10/2 3:00pm
野良犬 [英語字幕付] (122分・35mm・白黒)

うだる酷暑の中、ピストルを盗まれた新人刑事が、責任感をもって殺人犯を追いつめてゆく。志村は、新米を力強く助けながらも凶弾を受けてしまうベテラン刑事を好演した。役名: 佐藤刑事

1949(新東宝=映画芸術協会) 黒澤明 菊島隆三 中井朝一 松山崇 早坂文雄 三船敏郎、志村喬、淡路恵子、三好栄子、千石規子、本間文子、河村黎吉、飯田蝶子

Stray Dog [English subtitled] Directed by Akira Kurosawa

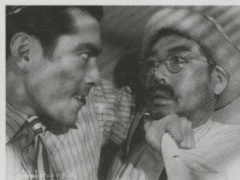
6 10/2 7:00pm
醜聞 (スキャンダル) (104分・35mm・白黒)

歌手としてのスキャンダルをでっち上げられた新進画家が、名誉のためにひと癖ある老弁護士を雇う。「思わぬ人物が主人公公よりも生々と活動を始め」たと黒澤にも評されたこの役は志村自身も気に入っていた。役名: 弁護士・蛭田

1950(松竹大船) 黒澤明 菊島隆三 生方敏夫 演田辰雄 早坂文雄 三船敏郎、山口淑子、桂木洋子、千石規子、小澤榮



鴛鴦歌合戦



酔いどれ天使

7 10/3 0:00pm 11/15 0:30pm
生きる (143分・35mm・白黒)

癌を宣告された役人が、絶望を乗り越え、残された人生を市民のために尽くすという黒澤ヒューマンイズムの頂点。試写会で俳優クレジットの冒頭に「志村喬」の字を見た夫人は、感激のあまり涙を流したという。役名: 市民課長・渡辺勘治

1952(東宝) 黒澤明 橋本忍、小国英雄 中井朝一 松山崇 早坂文雄 日守新一、田中春男、千秋實、小田切みき、左ト全

8 10/4 0:00pm
七人の侍 (206分・35mm・白黒)

野武士たちの襲撃を恐れる農民に雇われた、浪人たちの壮絶な戦闘を描く世界映画史上の一大活劇。志村の扮する七人のリーダー勘兵衛は人格に優れ、冷静沈着な戦術家として戦いを優位に導く。役名: 侍・島田勘兵衛

1954(東宝) 黒澤明 橋本忍、小国英雄 中井朝一 松山崇 早坂文雄 三船敏郎、津島恵子、島崎雪子、藤原釜足、加東大介、木村功、千秋實、宮口精二、小杉義男、左ト全、稲葉義男、土屋嘉男、高堂國典

9 10/3 4:30pm
ゴジラ (96分・35mm・白黒)

日本の怪獣映画の元祖。巨大生物の正体を明かそうとする博士を演じた志村は、結末で「あのゴジラが最後の一品とは思えない」と後実録への警告を発し、併せて新しい映画ジャンルの幕開けを告げる。役名: 古生物学者・山根恭平

1954(東宝) 本多猪四郎 香山滋 村田武雄 玉井正夫 北猛夫、中古智 圓谷英二 伊福部昭 宝田明、河内桃子、平田昭彦

10 10/4 4:30pm 11/14 4:00pm
男ありて (109分・35mm・白黒)

家庭を顧みず、野球に取りつかれた頑固な老監督を描き、のちに澤地久枝による志村の評伝のタイトルにもなった一本。志村自身が映画化にこだわった企画で、テレビドラマ化の際も主演を務めた。役名: プロ野球スパローズ監督・島村達郎

1955(東宝) 丸山誠治 菊島隆三 玉井正夫 小川一男 齋藤一郎 三船敏郎、岡田茉莉子、藤木悠、夏川静江、清水将夫、加東大介

11 10/16 3:00pm
どたんば (108分・35mm・白黒)

NHKのテレビドラマを映画化、炭坑の落盤で地中に閉じ込められた作業員と、救出をめぐる紛糾する周囲の人々を描いた内田吐夢作品。志村は経験豊かな最年長の作業員を演じる。役名: 炭鉱夫・伴野

1957(東映東京) 内田吐夢 菊島隆三 橋本忍 藤井静 森幹男 小杉太一郎 加藤嘉、江原真二郎、岡田英次、外野村晋、神田隆、中村雅子

12 10/16 7:00pm
総会屋錦城 勝負師とその娘 (110分・35mm・白黒)

城山三郎が前年に直木賞を受けた経済小説が原作。大企業の運命さえ操れる大物総会屋に志村が扮し、ライバル総会屋の銀行乗っ取りに対抗する中で、初めて一人娘への愛情に目覚める。役名: 総会屋・内藤錦城

1959(大映東京) 島耕二 城山三郎 井手雅人 小原謙治 仲美喜雄 大森盛太郎 轟夕起子、叶順子、片山明彦、山本礼三郎、柳永二郎



醜聞



七人の侍



男ありて



砂糖菓子が壊れるとき

13 10/18 1:00pm
砂糖菓子が壊れるとき (96分・35mm・カラー)

マリリン・モンローの生涯を日本の映画界に移植した趣向の一作。映画界の大立者に扮した志村は、駆け出し女優に目を留め、出演作の世話をし、パトロンの座に収まるが、彼女を残して逝ってしまう。役名: 映画プロダクション社長・工藤

1967(大映東京) 今井正 曾野綾子 橋田壽賀子 中川芳久 下河原友雄 渡辺岳夫 若尾文子、原知佐子、藤巻潤、津川雅彦、船越英二

14 10/18 4:00pm
男はつらいよ 寅次郎恋歌 (114分・35mm・カラー)

「男はつらいよ」シリーズ第8作。備中高梁を訪れた寅次郎は、志村演じる博の父親から、信州で見た「りんどうの花」の話を聞いて嬉し、柴又に戻るなり家族を持ちたいと口走り始める。役名: 博の父・諏訪隆一郎

1971(松竹) 山田洋次 朝間義隆 高野哲夫 佐藤公信 山本直純 渥美清、池内淳子、前田吟、信賞千恵子、森川信

15 11/13 3:00pm 11/15 4:00pm
お吟さま (154分・35mm・カラー)

太閤秀吉の求愛を拒み、自身の愛を貫いた千利休の養女・吟の物語。この利休は病身を押しして挑んだ志村最後の役で、最後の共演となった三船=秀吉との緊張をはらんだ対峙が見もの。役名: 千利休

1978(宝塚映画製作所) 熊井啓 今東光 依田義賢 岡崎宏三 木村威夫 伊福部昭 三船敏郎、中野良子、中村吉右衛門、中村敦夫

第1期			
9/26	1:00 pm	1	赤西蠣太 (78分)
	4:00 pm	2	鴛鴦歌合戦 (69分) [英語字幕付] Oshidori Utagassen [English subtitled]
9/27	1:00 pm	3	右門捕物帖 拾萬両秘聞 (75分)
	4:00 pm	4	酔いどれ天使 (98分)

第2期			
10/2	3:00 pm	5	野良犬 (122分) [英語字幕付] Stray Dog [English subtitled]
	7:00 pm	6	醜聞 (スキャンダル) (104分)
10/3	0:00 pm	7	生きる (143分) トーク・イベントあり
	4:30 pm	9	ゴジラ (96分)
10/4	0:00 pm	8	七人の侍 (206分)
	4:30 pm	10	男ありて (109分)

第3期			
10/16	3:00 pm	11	どたんば (108分)
	7:00 pm	12	総会屋錦城 勝負師とその娘 (110分)
10/17	ユネスコ「世界視聴覚遺産の日」記念特別イベント		
10/18	1:00 pm	13	砂糖菓子が壊れるとき (96分)
	4:00 pm	14	男はつらいよ 寅次郎恋歌 (114分)

第4期			
11/13	3:00 pm	15	お吟さま (154分)
	7:00 pm	2	鴛鴦歌合戦 (69分) [英語字幕付] Oshidori Utagassen [English subtitled]
11/14	1:00 pm	4	酔いどれ天使 (98分)
	4:00 pm	10	男ありて (109分)
11/15	0:30 pm	7	生きる (143分)
	4:00 pm	15	お吟さま (154分)

作品によって開映時間が異なりますのでご注意ください。
開映後の入場はできません。
定員: 310名(各回入替制)
料金: 一般520円/高校・大学生・シニア310円/小・中学生100円/障害者(付添者は原則1名まで)、キャンパスメンバーズは無料
発売: 2階受付
観覧券は当日・当該回のみ有効です。
発売・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切ります。
学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。
発売券は各回1名につき1枚のみです。
Ticket: 520yen
No entry after the screening has begun.

トーク・イベント
10月3日 2:30 pm
ゲスト: 野上照代氏(元黒澤映画スタッフ)
*入場無料(当日1回目の上映をご覧になった方は、そのままトーク・イベントに参加することが出来ます。トーク・イベントのみの参加もできます。)

